

平成28年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市星川地域ケアプラザ

2 事業計画

地域の現状と課題について

星川地域ケアプラザのエリア内中心には相鉄線が走り、星川駅・天王町駅がある他、幹線道路の国道16号線があるためバスの本数も多く、利便性に優れています。区役所や図書館、保育所、福祉関連施設などが多く集まっています。松原商店街やイオン、コーナン、いなげやなど買い物をする場所も充実しており、暮らしやすい地域です。エリア内には介護サービス事業所が数多くあり、介護が必要になった際もスムーズな利用につなげていきます。

一方で、国道16号線があるため交通量が多く、子育て世代には不安要素の一つと言えます。又、勾配の急な山坂のある地域は、特に高齢者にとって移動が困難となっています。天王町駅周辺では、帷子川の水害の発生が危惧されており、大雨や地震に伴う津波などの際には、高齢者などの災害弱者の速やかな避難が課題となっています。自治会・町内会館のような地域の活動拠点は、畳部屋や階段のある構造となっており、足腰が弱ると参加しにくくなります。

【中央連合町内会】

(ア)川辺町は戸建てが少なくマンション世帯が多い地域です。若い層が多く、高齢化率も中央地区で最も低い17.5%です。自治会組織の無いマンションが数か所あり、全体の自治会加入率が低くなっています。

特に市営川辺町住宅は高齢者の転入も多く高齢化率は高いが、老人クラブがない状況となっています。また、定期的に集まる場もない状況があり、孤独死の防止や見守りネットワークの構築が課題となっており、自治会役員と居場所作りをすすめていきます。

(イ)峰岡町一～二丁目、宮田町の坂の上方面は、車両が入り込めないような道幅の狭い箇所が多数あります。坂の中腹のエリアの高齢者は階段昇降が必須にて、足腰が弱ると外出が困難となるため、自宅に近い自治会町内会館などを会場に講座を開催していきます。

(ウ)宮田町は生活圏が横浜駅方面へ向いており、ケアプラザまで徒歩10分以上かかる状況があります。その為、ケアプラザ事業参加に結びついていません。又、高齢化率が高く山坂も多いことで高齢者にとって、足を運びやすい自治会町内会館での催しが少ない状況です。そのため、地域の事業に参加し顔の見える関係作りをすすめるだけでなく、自治会町内会役員や老人クラブ役員と一緒に新たな活動の立ち上げを支援していきます。

(エ)天王町団地は外国籍の住民が多く、集いの場が少ないため、住民同士のコミュニケーションがとりづらい状況です。過去には孤独死もあり住民同士のつながりや支えあいの必要性を感じています。地域ケア会議を開催し、自助・互助の仕組みづくりを検討していきます。

(オ)地域と共に第3期地域福祉保健計画の目標である、「笑顔で声を掛け合い、心通い合う活気あふれる安全で安心な街」を推進していくことが必要だと考え、できる限り地域行事やお祭りに参加します。

【岩間地区連合町内会（星川地区）】

(ア)星川一丁目は防災意識が高く、緊急連絡先や要援護者世帯の支援体制を整備する等の自治会活動が盛んです。毎月定期的に開催している、ひまわりの会は参加者の高齢化が進んでいますので、課題となる介護予防や権利擁護などの講座を共催で進めていきます。又、自治会長や民生委員など地域のキーパーソンと見守り活

動や地域課題について、情報共有や話し合いをすすめていきます。

(イ) 星川二丁目は高齢者に限らず住民が集える場が少ないので、民生委員がサロンの開催など居場所づくりを必要と考えています。気軽に参加でき、介護予防に取り組めるようなサロンの立ち上げの支援をしていきます。

(ウ) 星川三丁目は民生委員が主体となり、住民が集える居場所作りを進めサロンが立ち上がりました。定期開催や参加者定着に課題があり、活動が継続できるように他地域のサロンの情報提供を行い、住民に関心のある内容を一緒に考えながら支援していきます。

(エ) 明神台地区は戸建てが少なく市営住宅とUR住宅が立ち並んでいます。勾配の急な坂の上にある為、足腰が弱ると高齢者は、敷地以外への外出が困難な状況です。「サロンひだまり」の定期開催により、住民同士の交流ができています。担い手が高齢化する中で、市営住宅とUR住宅の連携による新たな担い手の育成が求められています。引き続き、地域事業やシニアボランティア登録の案内をし、担い手発掘や育成支援をすすめます。

(オ) 「地域で支えあう仕組みづくり」を目指しており、見守りツールを活用した認知症の方や高齢者などを支える見守り活動への取り組みを地域住民と一緒にすすめます。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

(ア) 複合施設であり、地域の様々な方が利用されるので、安全確保と設備の正常作動を最優先として管理に努めるとともに館内の清潔保持に努めます。

(イ) 設備の保守点検については、専門業者に委託のうえ不具合の早期発見に努め、適切な修繕を行って総合的に管理を行い事故防止に努めます。

(ウ) 区内の授産施設に、植栽管理と草取り、周囲の清掃を委託し、年10回作業を依頼して環境保全と緑化に努めます。

(エ) 貸室の日常清掃については、使用後に利用団体が清掃を行い、その後の点検を職員が行います。また、貸室を含め所内を委託業者が毎日清掃し、その後職員が目視し作業終了報告書の内容を確認しています。合わせて、毎月専門業者により全館の定期清掃を行います。

イ 効率的な運営への取組について

(ア) 労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して業務や役割の分担を図りながら効率的に行います。

(イ) 不要な照明をこまめに消し、職員が長時間離席する際にはパソコンの電源を落とすことを徹底します。空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めます。

(ウ) 整理整頓をすすめ、収納の工夫やインデックスの使用などで書類を捜さずに業務が効率的に行えるようルール周知と徹底を図ります。

ウ 苦情受付体制について

(ア)法人で苦情解決規則を定めており、それに基づいてケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応します。

(イ)お客様が苦情やご意見を述べやすいように、ご意見ダイヤルの利用方法と指定管理者名及び指定期間を掲示し情報提供します。また、職員の日を気にせず投函しやすいように、2階通路にご意見箱を設置しています。対応結果は受付ロビーに掲示し、お客様に周知します。

(ウ)法人では公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、苦情解決に向けて体制を整備し、取り組みを行います。

(エ)法人のケアプラザ所長で組織するサービス向上委員会を毎月開催し、受け付けた内容を共有するとともに、原因、改善策について検討し、事業所に持ち帰って今後の業務に生かせるよう所内会議で報告します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

(ア)地震、火災等の災害時の備えとして、法人で作成した非常災害・事故緊急時対応・再発防止マニュアルや、災害時の業務継続計画のためのBCPを見直し、更新します。

(イ)かるがも全館で行う年2回の防災訓練を通し、緊急時に各施設職員がマニュアルに沿った対応ができるよう、災害時に備えます。

(ウ)急病時には看護職員を中心として適切に対応できるようにAEDを設置しています。消防職員による指導で、全職員対象にAEDの操作方法を含む救命救急研修を実施します。

(エ)特別避難場所であることを地域に周知するとともに、地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備します。

オ 事故防止への取組について

(ア)介護サービスの提供中に起こったヒヤリハットを全体会議や朝夕のミーティングの場において報告し、注意喚起するとともに事例検討会を重ね、再発防止に努めます。

(イ)所内で法人内のサービス向上課から発信される注意喚起を回覧し共有するなど、法人内の他事業所での事故事例も検討し、問題点の洗い出しを行うとともに再発防止策を検討し、意識改善を図ります。

(ウ)毎月、産業医出席のもと衛生委員会を開催し、労働環境について検討を重ね改善策の検討と、対策を協議し改善に向けて行動します。

(エ)デイサービスの送迎車両にドライブレコーダーを取り付け、事故時の映像や会話を検証して対策を検討し、全車のスタッフに周知して安全運転に心がけます。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

(ア)法人で個人情報保護規程を定めており、ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに、所内でも個人情報保護の研修を実施し、啓発に努めます。

(イ)個人情報の含まれる契約書や記録類は施錠できるロッカーなどで保管し、どうしても携帯する必要がある場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを法人指定のカバンに入れて斜め掛けし携帯することを徹底します。

(ウ)個人情報の含まれる書類が同時に印刷をかけたパンフレットなどに混入しないように印刷機にセキュリティ設定を行い、個人のセキュリティカードをかざさないと印刷ができないシステムを導入します。

(エ)情報をパソコン本体に保存せず、法人のサーバーに保存することでパソコンの盗

難や不正アクセスがあっても情報が流出しないよう設定を行います。また、パソコンはワイヤーで固定し、盗難防止に努めます。磁気媒体は最低限のものを使用し、鍵のかかるキャビネットに格納し、出し入れの際に記録を残し管理します。
(オ)業務用携帯電話は暗証番号でダイヤルロックし、端末を万が一紛失した場合にも保存内容を遠隔操作で消去できるよう契約を行います。

キ 情報公開への取組について

(ア)情報公開の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開する体制を整えます。
(イ)ホームページや広報紙を活用して各種事業に関する情報や貸し部屋の空き情報などを幅広く市民の方に提供します。

ク 人権啓発への取組について

(ア)法人として毎年、様々な差別問題や弱者保護をテーマにして全職員を対象に人権研修に取り組んでいます。受講者が未受講者に対して伝達研修を行うことにより、人権の啓発を行い、職員やスタッフの意識向上を図ります。
(イ)児童保護の観点から、ケアプラザエリアごとに行われている要保護児童地域対策協議会に出席し、情報共有とともにそれぞれの所属ができることを話し合い、児童虐待防止に取り組めます。
(ウ)相談ケースの中で虐待が疑われるケースについては、区役所などの関係機関と慎重に協議し、対応します。また、介護者による虐待を未然に防ぐため、介護者教室や介護者のつどいを事業展開し、介護者支援を行います。

ケ 環境等への配慮及び取組について

(ア)省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行います。コピー用紙の裏面使用を励行し、資源ごみの分別収集に協力します。また、植栽の管理等を通して環境保全を行います。
(イ)電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止に努めます。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

職員体制

社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
保健師	1名
介護支援専門員	3名

目標

一人ひとりの心身状況や環境に応じて、ご本人と計画作成者がともに目標に向けて取り組むことを大切にし、自立支援へ向けた対応をしていきます。
お客様の選択権を十分に尊重し、安心と信頼を得られるケアプラン作成をします。

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）

通常のサービス提供地域を超える訪問、出張する必要がある場合には、公共交通機関を利用し、その運賃分をいただきます。

その他（特徴的な取組、PR等）

自立支援の視点によるケアプラン作成に努めます。また関係機関との情報共有や連携を図り支援します。インフォーマルサービスなど、地域資源を取り入れたケアプラン作成を行います。迅速かつ、お客様のニーズに適切なケアプラン作成を行います。

利用者目標（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
186	186	186	186	186	186
10月	11月	12月	1月	2月	3月
186	186	186	186	186	186

● 居宅介護支援事業

職員体制		
介護支援専門員	常勤兼務	1名
	常勤専従	2名
	非常勤兼務	3名

目標
<p>(ア)適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的かつ効果的に提供されるように、公正中立な立場に立って居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所の調整を行います。</p> <p>(イ)事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等のインフォーマルサービスと綿密な連携を図り、総合的なサービス調整に努めます。</p> <p>(ウ)専門的知識を高めるための研修に積極的に取り組み、特定事業所としての質の向上に努めます。</p>

実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）
<p>通常のサービス提供地域を越える訪問、出張する必要がある場合は、公共交通機関を利用の場合、公共交通機関の運賃分をいただきます。</p>

その他（特徴的な取組、PR等）
<p>(ア)ケアプラザ内のケアマネステーションという特色を生かし、福祉総合相談窓口と密に連携し、エリア内の様々な関係機関とネットワークを構築することで、多職種が協働した支援を目指し、地域に根ざした身近でかつ信頼される事業所となるように努めます。</p> <p>(イ)特定事業所として、お客様の相談に随時対応できるよう24時間相談体制としています。</p>

利用者目標（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
115	126	132	140	141	141
10月	11月	12月	1月	2月	3月
143	142	141	141	142	142

● 通所介護事業

提供するサービス内容
(ア)お客様ができるだけその居宅において、社会的孤立感を感じずに自立した日常生活を営むため、又はご家族の精神的・身体的負担を解消するために、生活機能の維持・向上を目指し、入浴・排泄・食事等日常生活の介護及び機能訓練を継続して行います。 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対し、安心して安全な社会交流の場となるようなサービスの提供に努めます。

実費負担（徴収する項目ごとに記載）		
○ 1割負担分	○ 2割負担分	
（要介護 1）	704 円	1,407 円
（要介護 2）	831 円	1,662 円
（要介護 3）	963 円	1,926 円
（要介護 4）	1,095 円	2,189 円
（要介護 5）	1,227 円	2,453 円
○ サービス体制強化加算(Ⅱ)	7 円	13 円
○ 入浴加算	54 円	108 円
○ 個別機能訓練Ⅱ	60 円	120 円
○ 口腔機能向上加算	161 円	322 円
○ 若年性認知症利用者加算	65 円	129 円
○ 送迎減算（片道）	-51 円	
○ おむつ代	大 211 円 小 183 円	
○ 食費負担	700 円	
○ キャンセル料（食材料費）	500 円	
○ 介護職員処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金を加算	

事業実施日数、提供時間			
○ 事業実施日数	週 6 日	○ 提供時間	9 : 30 ~ 16 : 30

職員体制	
管理者	常勤兼務 1 名
生活相談員	常勤兼務 3 名
看護職員	非常勤兼務 6 名
介護職員	常勤兼務 5 名
	非常勤兼務 24 名
機能訓練指導員	非常勤兼務 6 名

目標

(ア)自立支援をお手伝いする為にご自身でできる事は危険のないよう配慮し、出来るだけして頂きます。レクリエーションのプログラムはご自身で興味のある事やお好きな事を選択して頂き積極的に取り組んでいただけるように致します。

(イ)多職種連携を心掛けお客様の変化に気づき、ケアマネやご家族等連絡をする事で速やかに対処できるようにします。

(ウ)ボランティアの方や地域の方ともレクリエーションや日々の活動の中で交流する事ができるように致します。

その他（特徴的な取組、PR等）

(ア)個別機能訓練Ⅱを実施し、その方にあった目標を立てる事で積極的に訓練に参加していただき、ご自身の今の生活を出来るだけ長く健康に維持できるように致します。

(イ)個別レクリエーションではフラワーアレンジメントや野菜の栽培など日々の生活とは違う体験をして頂きます。また、今年度は蓼藍の種まきから行き成長を楽しみながら藍染をして作品を完成するという過程も楽しめるプログラムを実施します。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
570	570	570	570	570	570
10月	11月	12月	1月	2月	3月
570	570	570	525	525	592

介護予防通所介護事業

提供するサービス内容
(ア)お客様が今の生活を出来るだけ長く健康に続けていく事が出来るよう、自立支援を基に入浴・食事・排泄等の介護を行います。 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めます。

実費負担（徴収する項目ごとに記載）	
○ 1割負担分	2割負担分
（要支援1・週1回程度）	1,766円
（要支援2・週1回程度）	1,766円
（要支援2・週2回程度）	3,621円
○ サービス提供体制強化加算	
（要支援1・週1回程度）	26円
（要支援2・週1回程度）	26円
（要支援2・週2回程度）	52円
○ 若年性認知症利用者受入加算	258円
○ 運動器機能向上	242円
○ 食費負担	700円
○ キャンセル（食材料費）	500円
○ おむつ代	大 211円 小 183円
○ 介護処遇改善加算	1ヶ月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金を加算。

事業実施日数、提供時間	
○ 事業実施日数	週 6日
○ 提供時間	10:00～15:30

職員体制	
管理者	常勤兼務 1名
生活相談員	常勤兼務 3名
看護職員	非常勤兼務 6名
介護職員	常勤兼務 5名
	非常勤兼務 24名
機能訓練指導員	非常勤兼務 6名

目標
今回の制度改正の「医療から介護へ」、「施設から在宅へ」の方向を踏まえ、社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」を基本とし、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう努めます。

その他（特徴的な取組、PR等）

自分でできることは自分で行う（自助）ことを原則に、地域の互助の推進、その上で共助、それでも対応できない場合には公助という考え方に沿って支援できるよう努めます。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
119	123	123	128	123	123
10月	11月	12月	1月	2月	3月
123	123	119	114	114	128

● 認知症対応型通所介護事業

提供するサービス内容
(ア)認知症の方が地域で暮らしていく中で今の状態を出来るだけ長く保ち、孤立しないで安心して生活が出来るように、またご家族の精神的・身体的負担を解消する為に必要な日常生活のお世話(入浴・排泄・食事)と機能訓練を提供します。 (イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対し、安心・安全で、社会交流の場となるようなサービスの提供に努めます。

実費負担（徴収する項目ごとに記載）	
○ 1 割負担分	○ 2 割負担分
（要介護 1）	2,144 円
（要介護 2）	2,376 円
（要介護 3）	2,609 円
（要介護 4）	2,844 円
（要介護 5）	3,077 円
○サービス提供体制強化加算 I イ	39 円
○個別機能訓練	59 円
○入浴介助	109 円
○若年性認知症受入	131 円
○送迎減算（片道）	-51 円
○食費負担	700 円
○キャンセル料(食材料費)	500 円
○おむつ代	大 211 円 小 183 円
○食費負担	700 円
○キャンセル料（食材料費）	500 円
○介護職員処遇改善加算	一ヶ月のご利用単位数の 1000 分の 68 に相当する単位数の料金を加算

事業実施日数、提供時間	
○事業実施日数	週 6 日
○提供時間	9 : 30 ~ 16 : 30

職員体制	
管理者	常勤兼務 1 名
生活相談員	常勤兼務 3 名
看護職員	非常勤兼務 6 名
介護職員	常勤兼務 5 名
	非常勤兼務 24 名
機能訓練指導員	非常勤兼務 6 名

目標

脳の機能が変化していくことで、生き方や周りの人との繋がり、環境が変わっていくことで暮らしのありようが変わります。認知症の方ができる限りの能力を発揮し、その人らしい生活ができるように支援できるよう努めます。

その他（特徴的な取組、PR等）

（ア）認知症のうち、およそ半数はアルツハイマー型認知症です。次に多いのがレビー小体型認知症、そして血管性認知症と続きます。これらは「三大認知症」といわれ、全体の約85%を占めています。残りの15%の認知症の中には、治るタイプの認知症などがあります。【正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫脳腫瘍、甲状腺機能低下症、栄養障害、薬物やアルコールに関連するものなど】

専門的な視野からお1人おひとりに合った支援をさせていただき、できるだけご自宅で過ごして頂けるよう努めます。

（イ）お客様だけではなく、介護されるご家族とのコミュニケーションを図り、介護負担の軽減も図れるように努めます。

利用者目標（延べ人数／単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月
260	260	260	260	260	260
10月	11月	12月	1月	2月	3月
260	260	250	240	240	270

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

（目標）

- ア. 地域住民からの相談を職員間で共有し、地域課題の把握に努め、適切な事業展開に結び付けます。
- イ. 地区社協、民児協と連携して地域課題の共有に努めます。
- ウ. シニアクラブや地域の食事会、諸行事には積極的に参加し、情報収集に努めます。
- エ. 地域ケア会議の充実を図ります。

（具体的な計画）

- ア. 相談票を回覧し、相談ケースを共有し、専門性を活かした支援を行います。
- イ. 五職種会議を定例開催し、情報交換を密に行います。
- ウ. 個別ケース課題から見える町レベル、エリアレベルの共通課題は、広く積極的に広げていきます。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

（目標）

- ア. 第3期地域保健福祉計画の推進に向け、支援していきます。
- イ. ケアプラザへ足を運びにくい地区へ出前講座の開催を行います。

（具体的な計画）

- ア. 地区社協、民児協の会議、研修等に参加し、地域課題の共有に努めます。また、地域行事には積極的に参加し、関係構築を図り、情報収集に努めます。
- イ. 毎月開催の五職種会議で情報交換を行い、地域アセスメントシートを充実させ、課題の抽出を行い、適切な地域支援につなげます。
- ウ. 認知症当事者家族の支援に向け、地域の意志ある住民とささえあいの仕組みを作り、啓発活動を行います。

3 職員体制・育成

（目標）

- ア. 所長を含む常勤職員を適切に配置して、しっかりと来館者の対応ができる様に努めます。
- イ. 職員の資質向上等を図るため、法人やケアプラザ内で研修計画を立て実施して行きます。

（具体的な計画）

- ア. 相談受付担当を窓口当番の役割として常時配置します。また、相談で来館した方に対し、適切に対応ができる体制づくりをします。
- イ. 法人本部のサービス向上課と連携し、コンプライアンスの遵守と個人情報等のリスクマネジメントを行います。問題と成り得る状況をいち早くキャッチし、業務改善に努めます。
- ウ. 外部研修への参加も促進し、研修参加者による伝達研修や報告書の場を設け周知します。

4 地域福祉のネットワーク構築

（目標）

- ア. 地区社協、民児協、ほっとなまちづくり推進会議等に参加し、連携を深め、第3期地域福祉保健計画の推進を図ります。
- イ. エリア別子育て支援連絡会との連携を深め、地域の子育て支援、虐待防止を図り

<p>ます。</p> <p>ウ. ほっとフレンズ実行委員会に参加し、地域の障がい児・者支援に努めます。</p> <p>エ. 保健活動推進員やキャラバンメイト等、地域人材と連携した事業展開を図ります。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 地区社協、ほっとなまちづくり推進チーム、地区懇談会等に参加し、各地区の第3期保健福祉計画実現に向け、支援していきます。</p> <p>イ. エリア別子育て連絡会の周知としてほっしいーのわいわいフェスティバルのちびっこ広場の充実とともに、月1回開催している子育て支援事業での連携を図ります。</p> <p>ウ. ほっとフレンズ実行委員会として、年3回学齢障がい児の余暇支援事業を開催します。</p> <p>エ. 保健活動推進員と共催で、健康作り推進事業を実施します。</p> <p>オ. キャラバンメイトを始めとした地域人材と認知症サポーター養成講座を開催し、地域啓発を図ると共に、当事者家族支援の居場所作りを行います。</p>

<p>5 区行政との協働</p> <p>(目標)</p> <p>ア. 第3期地域福祉保健計画の実現に向け、支援チームとして連携を図ります。</p> <p>イ. こども家庭支援課と連携し、発達に心配のある子どもと保護者に対する育児支援を行います。</p> <p>ウ. 認知症見守りネットワーク普及啓発媒体作成を推進します。</p> <p>エ. ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業に積極的に関わり、民生委員と連携し、訪問や地域活動への参加、孤立防止の推進に努めます。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 地域アセスメントシートで把握した地域情報や抽出された課題を岩間地区、中央地区の支援チームと共有し、地域支援を行っていきます。</p> <p>イ. こども家庭支援課と連携し、発達に心配のある子どもと保護者を対象とした事業を実施します。</p> <p>ウ. 認知症見守りネットワーク普及啓発媒体作成作業部会に参加をして、地域の認知症見守りネットワーク構築が図れる様に継続して協働します。</p> <p>エ. 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」に積極的に関わり、民生委員と連携し、訪問や地域活動に参加します。また、ケアマネと民生委員との情報交換会を行い、日頃から連携を深めます</p>

地域活動交流部門

<p>1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供</p> <p>(目標)</p> <p>ア. 地域のインフォーマルな情報を収集し、地域福祉の充実を図ります。</p> <p>イ. 貸室団体の活動を積極的に発信する機会を設け、活動の輪を広げます。</p> <p>ウ. エリア内小中学校に出張し、福祉教育の理解を図ります。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 地域アセスメントシートを充実させていきます。</p> <p>イ. 地域情報の冊子を作成します。</p> <p>ウ. ケアプラザの広報紙やホームページ、ほどぴよメールを活用し、情報発信していきます。</p> <p>エ. エリア内小中学校で認知症サポーター養成講座や福祉理解の講座を開催します。</p>
--

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供
<p>(目標)</p> <p>ア. ボランティア活動の推進、活動の機会の提供に努めます。</p> <p>イ. 地域活動団体の活動の周知を支援します。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 貸室団体交流会やシニアボランティアポイント研修会を開催し、ボランティア活動の推進、活動の機会を提供します。</p> <p>イ. 広報紙やかるがも内掲示板などで団体の活動を積極的に紹介していきます。</p>

3 自主企画事業
<p>(目標)</p> <p>ア. アンケートでニーズの多い、体操教室、子育て支援事業の充実を図ります。</p> <p>イ. 保健活動推進員と連携した健康作り事業を実施します。</p> <p>ウ. 地域人材を活用して既存の事業の充実を図り、異世代交流を継続します。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 地域の社会資源と連携した介護予防の体操教室を開催します。</p> <p>イ. 貸室団体と連携した子育て支援事業を開催します。</p> <p>ウ. 保健活動推進員と共催で、ウォーキング事業を開催します。</p> <p>エ. 子ども寺子屋や子育て広場ではシニアボランティアの力を活かし、異世代交流事業を図ります。</p> <p>オ. 障害児余暇支援活動事業を活用し、ニーズに即した余暇支援を実施します。</p>

4 ボランティアの育成及びコーディネート
<p>(目標)</p> <p>ア. 事業参加者の力量アップに努め、自主活動につなげます。</p> <p>イ. 元気高齢者の地域活動を応援し、活動の場所を提供します。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 子育て事業やサロンほしかわ等の自主事業参加者の力量アップに努め、特技を生かした活動の場をコーディネートします。</p> <p>イ. ボランティアポイント登録研修会を実施します。</p> <p>ウ. わいわいフェスティバルに、より大勢の地域人材・貸室団体を登用し、担い手の主体的な参加意識を高めます。</p> <p>エ. 男助っ人隊の自主活動を支援します。</p> <p>オ. ボランティアセンターと連携し、ボランティア活動の場所を提供します。</p> <p>カ. 広報紙を活用して、ボランティア活動の場を紹介していきます。</p>

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談
<p>(目標)</p> <p>ア. 地域住民のさまざまな相談に対応し、適切な情報提供をします。</p> <p>イ. 町別の相談状況の分析を行い、事業開催へも反映していきます。</p> <p>(具体的な計画)</p> <p>ア. 個別訪問等を行い、的確な状況把握と情報提供を行います。地域の活動拠点に向き、情報提供と相談を受けやすい環境を構築していきます。</p> <p>イ. 町別の相談数や相談内容の分析を行い、ニーズや課題の把握を行い、今後起こりうる課題についても予測していきます。</p>

地域包括支援ネットワークの構築

(目標)

- ア. 地域の活動拠点へ積極的に出向き、ニーズや課題の把握を行います。
- イ. 地域の新たな活動拠点の発足の支援を行う中で、新たなニーズや課題の把握を行います。

(具体的な計画)

- ア. 五職種で連携し、地域住民と顔の見える関係作りを行うことを続けます。アセスメントシートを作成し、把握した情報を集約するだけでなく、エビデンスに基づいた事業展開を行います。
- イ. 住民同士の交流や居場所作り、情報収集等のニーズがある地域では、サロンの立ち上げや内容について支援を行います。

実態把握

(目標)

- ア. 相談、地域住民、関係機関から得た情報からニーズや課題の把握・分析を行います。

(具体的な計画)

- ア. 五職種で連携し、アセスメントシート作成を継続していきます。また個の相談ケースから、同地域における共通した課題を検討し、地域で支える体制に向けて事業展開をしていきます。

2 権利擁護

権利擁護

(目標)

- ア. 地域住民へ自身の今後の備えについて関心が持てるよう普及啓発を行います。
- イ. 成年後見制度の必要性の高いケースについて早期発見し、必要な支援につなげます。
- ウ. 悪徳商法による消費者トラブルの注意啓発を行います。

(具体的な計画)

- ア. 今後の備えについて学ぶきっかけづくりのため、講座開催や必要な制度説明を行います。
- イ. 関係機関、事業所、地域の支援者等と連携を図り、情報収集と必要性の把握を行い、迅速・継続的に支援をしていきます。
- ウ. ケアプラザ内の情報コーナーや地域へ出向いた時に新しい情報提供と注意啓発を行います。
中央地区あんしん訪問員研修に参加し、ケアプラザからも消費者被害トラブルの注意啓発をします。

高齢者虐待

(目標)

- ア. 事業や講座を通じ、高齢者虐待防止について普及啓発を行います。
- イ. 早期発見や見守り体制の強化のため、各関係機関への普及啓発に努めます。
- ウ. 区と役割分担を行い、高齢者虐待防止に取り組みます。

(具体的な計画)

- ア. 介護者のつどいとして、「男性介護者のつどい」「ホッとする会」を継続します。また、介護者支援講座を開催します。3つのテーマで3回開催し、介護負担軽減

の為の情報提供をします。

- イ. 民児協の定例会、ケアマネ連絡会等で、虐待の早期発見や見守りについて連携を深めていけるよう働きかけます。
- ウ. 虐待ケース、疑わしいケースについて日頃より職員間や関係機関と情報共有します。適宜ケースカンファレンスを開催し、継続的に対応します。

認知症

(目標)

- ア. 認知症サポーター養成講座や地域への出前講座にて認知症に関する普及啓発を行います。
- イ. 認知症サロンを開催します。
- ウ. 事前登録ホルダーの実施へ向けた対応をします。

(具体的な計画)

- ア. 認知症サポーター養成講座を地域や学校など以外に、地域ケアプラザでも開催をします。またキャラバンメイトへ声掛けを行い、協働して活躍できる場を提供します。
- イ. 認知症サポーター養成講座の受講者の中で、ボランティア活動希望者と協働して認知症サロン等の実施に向けた取組みをします。
また、開催へ向けた話合いや、自主化へ向けた支援を行います。
- ウ. 地域より事前登録ホルダーの取り組みに対する相談時に対応できる様、法人内で先行して実施している地域ケアプラザを視察して情報提供や支援を行います。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

(目標)

- ア. 介護予防ケアマネジメント力を 向上できるよう支援します。

(具体的な計画)

- ア. 介護予防対象者(要支援)の担当者会議議、事例検討会に参加し、地域の特性を取り入れながら介護予防の視点をケアプランへ反映させられるように支援します。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

(目標)

- ア. 民児協へ参加をして民生委員との関係構築、連携強化を図ります。
- イ. 民生委員とケアマネジャーの連携が図れる様に努めます。

(具体的な計画)

- ア. 民児協へ毎月参加をして地域の情報収集や、地域高齢者の情報共有に今後も努めます。
- イ. 民生委員とケアマネジャーが顔を合わせる機会を設けます。

医療・介護の連携推進支援

(目標)

- ア. エリア内の医療機関へ広報紙を定期的に配布し、顔の見える関係構築を図ります。また設置可能な医院の増加を目指します。
- イ. 多職種連携会議の開催を行い、地域包括ケアシステムの構築に努めます。

- ウ. 保土ヶ谷区医療連携相談室との連携や協働の機会に努めます。
(具体的な計画)
- ア. エリア内の医療機関へ毎月広報紙を持参する事で、相談や連携が図れる関係構築を目指します。
- イ. 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みとして、医療機関・サービス事業所へ参加を呼び掛けた多職種連携会議を実施します。
- ウ. 地域ケア会議における参加依頼をします。地域への出前講座に際して医療相談室の普及啓発や、協働した事業展開を検討します。

ケアマネジャー支援

- (目標)
- ア. ケアマネジャーの相談対応や、連携を図る事で関係を構築します。
- イ. ケアマネ連絡会の定期開催により、ケアマネジャーの資質向上に努めます。
- ウ. ケアマネ事業所連絡会への支援を行い、自主活動が継続できる様に対応します。
- エ. エリア内の居宅介護支援事業所に対する勉強会を開催します。
(具体的な計画)
- ア. サービス担当者会議や事業所訪問を積極的に行い、関係構築が図れる様に努めます。また、困難事例に対する同行訪問や、問題解決に向けた支援を行います。
- イ. 区内主任ケアマネジャーと連携して、年間のケアマネ連絡会開催(新任・就労予定ケアマネジャー研修を含む)を実施します。
- ウ. ほどがやケアマネネットの役員会・研修に参加。開催場所の確保や提供を行います。
- エ. エリア内の居宅介護支援事業所へ勉強会開催案内を行い、エリア内のケアマネジャーに対する後方支援を行います。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- (目標)
- ア. 個別地域ケア会議を年4回以上開催します。
包括レベル地域ケア会議を年2回の開催を目指します。
- イ. 地域のケアマネジャーへ担当ケースの提出をしてもらえる様、働きかけをします。
(具体的な計画)
- ア. 地域アセスメントシートや区とのカンファレンスによる地域課題抽出に努め、個別ケース地域ケア会議随時開催します。
包括レベル地域ケア会議の実践に向けて、地区担当や区社協職員など、関係者としっかりと検討をして実施へ向けて取組みます。
- イ. 地域ケア会議の概要資料・当日の流れ・提出依頼資料を、事業所訪問により説明し事例提供依頼を行います

介護予防事業

介護予防事業

- ア. 関わりが少なかった川辺町住宅、星川二丁目、宮田町について、地域住民と連携を図り、健康づくりや介護予防の活動拠点の立ち上げに取り組みます。
- イ. 介護予防事業の担い手の育成や、自主グループの活動が継続できるように支援していきます。
- ウ. 介護予防に取り組む老人クラブやグループに対して、区役所と連携し、きらりシニア塾の認定を進めていきます。
- エ. 地域診断に基づき、疾病予防・介護予防を普及啓発していきます。
(具体的な計画)

- ア. 川辺町住宅、星川二丁目、宮田町の自治会館や町内会館において、介護普及啓発事業を展開し、活動拠点の立ち上げの機会を提供します。その為に、自治会役員や民生委員に説明会を開催し、サロン立ち上げができるように支援していきます。
- イ. 昨年度立ち上がった、明神台サロンひだまりや、星川三丁目サロンはなみずきの活動が継続できるように、民生委員と共に活動内容を計画したり、地域で活用できる情報を提供し、支援していきます。
- ウ. 介護予防に取り組む老人クラブ峰1長寿会、星松会、天王町団地長寿会、明寿会や、活動グループ明神台ひまわりクラブ、星川ノルディックについて、区役所と共に、きらりシニア塾の認定を進めていきます。
- エ. 脳血管疾患を引き起こす疾病に関して、その予防や対策についての出前講座を行います。

生活支援体制整備

ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

(目標)

- ア. エリア内のインフォーマル資源の収集を進め、地域情報冊子を作成します。
- イ. 毎月5職種でアセスメントシートの作成や考察をし、ニーズや資源把握・地域分析を進めます。

(具体的な計画)

- ア. 地域情報冊子にインフォーマル資源をまとめ、相談対応時に適切な情報提供ができるよう活用していきます。
地域住民が情報冊子にある他活動を参考にすることで、足りない資源の気づきを促します。
又、自分達でできそうな活動を立ち上げるきっかけとして活用できるような情報を提供します。
- イ. アセスメントシートの作成や考察を進め、根拠に基づいた事業を展開します。
又、地域住民へ保土ヶ谷ほっとなまちづくりやポータルサイトなどで得られる必要なデータを提示し、地域の現状を知るだけでなく、5年後・10年後を見据えた地域状況予測の共有を図っていきます。

圏域レベルの協議体の設置・開催

(目標)

- ア. 区の方針の下、協議体を設置し開催します。

(具体的な計画)

- ア. 区役所や区社協の支援のもと、協議体を設置し1回以上開催します。

圏域レベルの目標・取組事項の設定

(目標)

- ア. 地域住民が地域課題に気づけるきっかけを作ります。

(具体的な計画)

- ア. 地域課題への気づきや現状共有を地域住民と図り、将来予測ができるよう、5職種で連携して町レベルの地域ケア会議を開催します。
又、地域活動の担い手や新たなキーパーソンとの顔の見える関係を構築していきます。

具体的な取組事項への着手

(目標)

- ア. 様々な地域の方々と顔が見え、共同できる関係を作ります。
- イ. 日常生活圏域の生活支援・介護予防の充実を進めていきます。

(具体的な計画)

- ア. 民生委員・児童委員協議会や地区社会福祉協議会・懇談会など、様々な地域の会合に出席します。
又、5職種で役割分担をし、地域行事へ参加します。
- イ. 地域住民が集える居場所が少ないと感じ、課題を抱えている星川2丁目、市営川辺町住宅、宮田町等において、居場所作りや介護予防を目的としたサロンの立ち上げができるよう支援していきます。
担い手育成や他活動の参考・交流ができるような機会を作ります。

平成28年度 地域ケアプラザ収支予算書

施設名: 横浜市星川地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型通所介護	生活支援
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	16,394	34,947	151						0
	介護保険収入				10,576	26,835	77,126	7,609	48,714	
	その他									
	外部委託分	0	0	0	4,066	0	0	0	0	0
	認定調査	0	0	0	0	614	0	0	0	0
	自販機手数料	0	0	0	0	0	65	0	0	0
	受入研修費収入	0	0	0	0	0	145	0	49	0
収入合計(A)	16,394	34,947	151	14,642	27,449	77,336	7,609	48,763	0	
支出	人件費	11,088	34,909	0	2,708	20,165	59,282		21,592	0
	事務費	2,352	1,987	0	4,967	1,389	4,443		1,979	
	事業費	616	-111	151	21	58	7,786		2,908	0
	管理費	6,275	1,666	0	0	0	4,386		1,484	
	その他									
	居介支委託分	0	0	0	149	0	0		0	0
	拠点区分間繰入金	0	0	0	417	710	9,048		20,800	0
外部委託分	0	0	0	4,066		0		0	0	
支出合計(B)	20,331	38,451	151	12,328	22,322	84,945		48,763	0	
収支 (A) - (B)	-3,937	-3,504	0	2,314	5,127	0		0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支計画書

【注】*1 区補助金事業利用のため、経費支出なし

【注】*2 貸室団体活動支援事業で、会計は団体にて管理。ケアプラザより経費支出なし

【注】*3 職員の食費含む

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
歌声ひろば	高齢者						
	40人×12回						
	100	48,000	0	48,000	36,000	0	12,000
社交ダンスde介護予防	高齢者						
	20人×3回						
	100	6,000	0	6,000	6,000	0	0
コグニサイズde認知症予防	高齢者						
	30人×6回						
	500	95,040	5,040	90,000	90,000	0	5,040
キラリ☆メイクアップde介護予防	高齢者						
	30人×1回						
	0	0	0	0	0	0	0
介護予防教室	高齢者						
	20人×8回						
	0	90,240	90,240	0	80,000	8,000	2,240
川辺町ほっと倶楽部	高齢者						
	10人×6回						
	0	0	0	0	0	0	0
星川一丁目ひまわりの会出前講座	高齢者						
	25人×8回						
	0	0	0	0	0	0	0
星川三丁目サロンはなみずき出前講座	地域住民						
	4回×15人						
	0	0	0	0	0	0	0
明神台サロンひだまり出前講座	高齢者						
	20人×10回						
	0	0	0	0	0	0	0
ダンディーズ 介護予防グループ支援	高齢者						
	15人×4回						
	0	0	0	0	0	0	0
サロンほしかわ	地域住民						
	40人×43回						
	0~200	105,000	5,800	99,200	0	30,000	75,000
シニア体操	高齢者						
	35人×43回						
	0	0	0	0	0	0	0
子育て広場	乳幼児と保護者						
	13組×10回						
	原則0	0	0	0	0	0	0
かるがも☆こころのリズム教室	乳幼児と保護者						
	7組×11回						
	0	112,000	112,000	0	110,000	2,000	0

平成28年度 自主事業収支計画書

ミニデイ *3	高齢者 (参加者20人+ 職員5人)×10 回							
	600	160,000	10,000	150,000	0	160,000	0	
子ども寺子屋	小学生 10人×27回							
	100	4,000	3,000	1,000	0	4,000	0	
リンパマッサージ&ストレッチ	地域住民 20人×5回							
	300	41,775	11,775	30,000	38,975	0	2,800	
ボランティア感謝会&交流会	ボランティア 50人×2回							
	0	50,000	50,000	0	0	35,000	15,000	
横浜市星川地域ケアプラザ 貸室登録団体利用説明会交 流会	地域住民 50団体1回							
	0	0	0	0	0	0	0	
夏だ！プールに行こう！	乳幼児と保護者 100組200人							
	50	5,600	600	5,000	0	0	5,600	
ほっとフレンズ2016なつ *1	障がい児 20人1回							
	500	0	0	0	0	0	0	
子育てひろばのクリスマス会	乳幼児 20組40人							
	600	13,000	1,000	12,000	5,000	8,000	0	
かるがもクリスマス会	地域住民 50人1回							
	500	27,000	2,000	25,000	0	27,000	0	
ほっしいーのわいわいフェス ティバル	地域住民 1500人1回							
	500~1000	280,000	170,000	110,000	5,000	150,000	125,000	
『出張サンタ～サンタが街に やってくる！？～』	乳幼児と保護者 25組50人5回							
	0	0	0	0	0	0	0	
区民まつりの事業参加	地域住民 350人1回							
	0	500	500	0	0	500	0	
岩間地区福祉のつどい	地域住民 330人1回							
	0	0	0	0	0	0	0	
本・おもちゃの貸し出し	地域住民 100人1回							
	0	0	0	0	0	0	0	
中央地区配食ボランティア* 2	高齢者 40人×11回							
	300	0	0	0	0	0	0	
男助っ人隊の包丁研ぎ個人 講座*2	地域住民 25人×4回							
	300	0	0	0	0	0	0	

平成28年度 自主事業収支計画書

認知症サポーター養成講座	地域住民						
	随時開催						
	0	0	0	0	0	0	0
シニアボランティアポイント登録研修会	地域住民						
	45人×1回						
	0	0	0	0	0	0	0
認知症介護を考える会	地域住民						
	8人×10回						
	0	0	0	0	0	0	0
親子で健康クッキング	未就園児と保護者						
	15組30人×1回						
	500円	10,000	2,500	7,500	0	10,000	0
調理室清掃・ボランティア大作戦！！	貸室調理室利用団体						
	10人×2回						
	0	0	0	0	0	0	0
ほ도가やウォーク～地元を歩こう	地域住民						
	20人×3回						
	50～200	9,680	680	9,000	8,000	0	1,680
ほっとフレンズ2017はる＊1	障がい児						
	20人×1回						
	500	0	0	0	0	0	0
鬼の出張	乳幼児と保護者						
	10人×2回予定						
	0	0	0	0	0	0	0
グリーンカーテンを作ろう	地域住民						
	5人×5回予定						
	0	8,000	8,000	0	0	8,000	0
男性介護者のつどい	介護者						
	6回×5人						
	500	5,000	2,500	2,500	0	5,000	0
介護予防教室	介護者						
	3回×15人						
	0	0	0	0	0	0	0
ホッとする会	介護者						
	6回×5人						
	0	0	0	0	0	0	0
		1,070,835	475,635	595,200	378,975	447,500	244,360

事業ごとに別紙に記載してください。

平成28年度 自主事業計画書

横浜市星川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声ひろば	<p>【目的】参加者同士の交流を通して、体操や歌を歌うことで心身機能の低下を防止し、介護予防につなげる。</p> <p>【内容】体操や唱歌や懐かしの歌謡曲を歌う。</p>	4～3月、毎月 (第3水曜) 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンスde 介護予防	<p>【目的】地域住民に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。</p> <p>【内容】健康増進や介護予防に関する取り組みを行う。</p>	10～12月 計3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コグニサイズde 認知症予防	<p>【目的】地域住民に対して、頭と身体を動かすコグニサイズを行い、認知症予防を図る。参加者同士の交流をもつことで、所属感、仲間意識をもってもらい、閉じこもり予防を図る。</p> <p>【内容】講師を招き、自宅でも行えるよう脳を活性化させるコグニサイズを実施する。</p>	10～3月 計6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
キラリ☆メイク アップde介護予 防	<p>【目的】地域高齢者に対して、身近な相談窓口の地域ケアプラザや包括支援センターを周知する。外出が楽しくなるようなメイクアップを体得し、閉じこもり予防を図る。</p> <p>【内容】外出が楽しくなるようなメイクアップを体得し、閉じこもり予防を図る。介護予防について情報提供する。</p>	10月、1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防・認知症予防を図る。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組み(体操、栄養、口腔)を行う。</p>	9～12月 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川辺町ほっと倶 楽部 出前講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知し、認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組み(体操、体力測定、歌を歌う、脳トレ、手遊び等)を行う。</p>	4～3月 奇数月 (第4また第5火曜 日) 計6回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川一丁目 ひまわりの会 出前講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。活動団体が活動を継続できるように支援していく。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組みを活動団体と共に企画していく。介護予防となる、体操や歌を歌う。権利擁護に関する情報提供をする。</p>	4～3月毎月 (第1水曜) 計8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
星川三丁目サロン はなみずき出 前講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組み(体操、脳トレ、手遊び等)を行う。</p>	6月・8月・11 月・2月 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
明神台サロン ひだまり出前講 座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組み(体操、脳トレ、手遊び等)を行う。</p>	4～3月 (第2または 第4木曜) 計10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ダンディーズ 介護予防グルー プ支援	<p>【目的】ダンディーズの参加に対して、健康づくり介護予防について普及啓発をする。</p> <p>【内容】体力測定、健康づくりのための情報提供を行う。</p>	4～3月 計4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロンほしかわ	<p>【目的】地域の子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象とし、閉じこもり防止を目的に、仲間作り、生きがい作りの提供を行う。異世代交流の場とすることで、趣味を通じた仲間作りをすすめ、地域の助け合いの輪がひろがるよう、地域ケアプラザの機能を発揮する。</p> <p>【内容】コーナーを設けて、カラオケ・川柳・習字・ちぎり絵・折り紙等を実施。</p>	毎週火曜日 13時30分～15時30 分 43回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア体操	<p>【目的】地域のシニア世代を対象とし、在宅生活を健康で過ごすための介護予防として、体操教室を実施している。</p> <p>【内容】転倒骨折予防教室OBと共催で体操教室を開催し、登録制で第1・3(火)は三期会、第2・4(火)はハッピー会が運営。DVDを活用し、ボール運動や「はまちゃん体操」、「チューリップ体操」等を実施。</p>	毎週火曜日 10時～11時30分 43回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>【目的】未就園児とその保護者を対象とした子育て支援。地域の活動団体や様々な専門機関と連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図り、交流の場を提供。また、地域のシニアボランティアに参加してもらうことで、世代を超えた交流の場を作り、地域活動や地域福祉へ関心を持ち参加するきっかけとなる場を提供する。</p> <p>【内容】布おもちゃ製作ボランティアグループ「ちくちく」の手作りおもちゃを活用した親子のつどいの広場。貸室団体や子育て支援連絡会等地域ボランティアと連携したプログラムを実施。</p>	毎月第3金曜日10回 (8月12月休み) 10時半～12時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがも☆こころのリズム教室	<p>【目的】子どもの発達に不安のある保護者の育児支援。音や音楽を通して、子どもの5つの感覚の発達を促す。遊びを通して、子どもとの向き合い方を学ぶ。</p> <p>【内容】特別支援教育士による音と音楽遊びと子育て相談。</p>	毎月第1金曜日11回 (8月休み) 10時～11時半

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイ	<p>【目的】要支援・要介護者になる前の高齢者を対象として、外出の機会を設け、お互いの交流の場とし、仲間づくりを支援。</p> <p>【内容】地域人材や貸室団体の特技を生かしたレクリエーションを実施したあと、ヘルスメイトによる健康に留意した食事の提供、またケアプラザより健康作りや権利擁護等の情報を提供している。</p>	毎月第4水曜日10回 (8月1月休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども寺子屋	<p>【目的】地域のシニアボランティアの協力により、異世代交流とともに、地域の歴史や文化に親しむ機会を作り、他者へのおもいやりの心を育てていく。</p> <p>はまっこふれあいスクールでも、学童クラブでもない、小学生の放課後の居場所。地域の大人と一緒に子どもたちを育てるネットワークを作り、地域コミュニティの活性化につなげる。</p> <p>【内容】エリアの小学校の生徒を対象に、学校の宿題のあと、地域の人材を活用した交流事業や保土ヶ谷の魅力伝える企画等実施。</p>	毎月2～3回程度の水曜日27回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リンパマッサージ&ストレッチ	<p>【目的】在宅生活を健康にすごしていくために、体操教室を実施する。地域の高齢者に外出の機会を提供、閉じこもりを予防し、また更年期などで体の変調に不安を感じている中高年、子育て中の母親など、広く地域住民を対象とする。</p> <p>【内容】講師によるリンパマッサージ&ストレッチを1時間半程度行う。</p>	平成28年6月10日、9月9日、10月14日、平成28年1月28日、3月10日 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会&交流会	<p>【目的】星川地域ケアプラザで活動している多くのボランティアに感謝の意を表するとともに、他のボランティアと交流することで、情報交換や出会いの場を提供し、活動に広がりを持ったり、悩みの共有や問題解決の助けとする。</p> <p>【内容】個人と団体において実施。ボランティアの活動発表と職員紹介。後半は、グループワークを実施。</p>	平成28年3月10時～15時 2回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜市星川地域ケアプラザ貸室登録団体利用説明会	<p>【目的】日頃から横浜市星川地域ケアプラザの貸室を利用している方に、地域ケアプラザの貸室ルールや意見交換の場として実施します。今回の交流会をきっかけにニーズの把握や利用団体が福祉保健団体へ結び付けることができるように働きかける。</p> <p>【内容】顔の見える関係づくりと、特技を生かしたボランティア活動の積極的な働きかけを行う。また貸室の利用ルール、災害時の避難等、周知。</p>	平成28年7月11日 (月) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏だ！プールに行こう！	<p>【目的】10ヶ月から3歳以下の未就学児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施。地域の身近な場所で日常的な交流の場を作り、緑のカーテンを作り、地域の親子にのびのびとプールを楽しんでもらう。</p> <p>【内容】2階多目的ホール外でビニールプールを数か所設置し、プールを開催。</p>	平成28年7月～8月 の間、全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ2016なつ	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。 ③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。 ④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。 本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。保土ヶ谷区内に在住・在学の養護学校の小学生～高校生を対象に室内プログラムの余暇支援を実施。横浜市常盤台地域ケアプラザを会場に「夏祭り」を実施する。ペアとなるボランティアには、事前説明会を実施。</p>	平成28年7月30日、 8月7日(日) 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てひろばのクリスマス会	<p>【目的】未就園児とその保護者を対象とした子育て支援。また、地域の身近な場所で、定年後の男性グループや布おもちゃ製作グループちくちくと一体となったイベントを開催することで、福祉活動の理解を図る。</p> <p>【内容】親子交流プログラム。最後に男性ボランティアのサンタが登場し、ちくちく製作のプレゼントを配布。</p>	平成28年12月16日 (金) 10:30～12:00 1回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがもクリスマス会	<p>【目的】サロンほしかわの参加者を対象に、コーナーを越えた交流・親睦の機会とする。また、参加者の日頃の活動の成果を披露することで、参加意欲・生きがい作りにつなげる。</p> <p>【内容】サロンほしかわ各コーナーの参加者による発表および交流会。</p>	平成28年12月22日 (火) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっしいーのわいわいフェスティバル	<p>【目的】地域ケアプラザの機能理解を深く地域に浸透できる機会とし、横浜市在住の子どもから高齢者、障がい者の支えあい、安心安全なまちづくりをテーマとしたイベント内容を積極的に取り入れる。その中で、子育て中の方やこれから子どもを持つようとする方をはじめ、保土ヶ谷区民に区内の子育て・次世代育成支援の情報を提供することを目的の一つとして開催。</p> <p>【内容】かるがも駐車場で模擬店、資源循環局のミニゴーカート、かるがも1階ダイルームでコンサート、ラウンジでの福祉バザー、2階は、健康チェックコーナー、子育て支援連絡会主催による親子のひろば等を実施。</p>	平成28年11月20日 (日) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
『出張サンタ～サンタが街にやってくる！？～』	<p>【目的】地域ケアプラザに関係する男性のボランティア活動として出張サンタクロースを実施。エリア内の子育て支援団体・サークルと連携し、横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】男性ボランティア扮するサンタが、子育てグループのクリスマス会や、子育て支援施設に出張し、子どもとのふれあいを実施。</p>	平成28年12月 5回程度

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区民まつりの事業参加	<p>【目的】区民が多数来場する「区民まつり」に区内すべてのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】7ケアプラザ合同事業として、地域活動交流担当でケアプラザの紹介や住民との交流活動を実施。また介護予防ブースに区高齢障害支援課保健師、区内包括保健師職が合同で、健康づくり・介護予防の普及啓発として、パネル展示や事業紹介を行う。</p>	平成28年10月 1回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
岩間地区福祉のつどい	<p>【目的】 エリア内の地域イベントに横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】 岩間地区社会福祉協議会主催の事業として、5月頃より、毎月1回福祉のつどい実行委員会のメンバーとして参加する予定。</p> <p>毎年内容を変えて実施している企画で、3年連続で「運動会」を実施する予定となっている。この機会に地域ケアプラザとして地域活動に関わることで、地域ケアプラザの機能理解を得る場となることと、地域との関わりが強化できることもあり、継続して事業参加する。ケアプラザはプログラムの手伝いやチラシ配布と地域ケアプラザの紹介、チューリップ体操を行う予定。</p>	平成28年11月 (日) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
本・おもちゃの貸し出し	<p>【目的】 地域特性を考慮し、ニーズにあった事業を実施することで、ケアプラザの利用を促進する。</p> <p>【内容】 星川地域ケアプラザ1階ラウンジで、本棚・布おもちゃを設け、閲覧スペースを設けるとともに貸出し業務を行う。</p>	開館日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中央地区配食ボランティア	<p>【目的】 「住民誰もが安心して暮らせるまち」「高齢になっても障害をもってもいきいきと過ごせるまち」を中央地区の福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等が共に考え、作り上げていく活動。そして、それぞれの活動の推進とともに、課題の共有から地域課題に向けて取り組み支えあいの地域づくりの発展を目指している。</p> <p>【内容】 中央地区配食ボランティア主催による、月1回の手作り弁当を夕食に配達。ケアプラザは活動場所、周知、利用者の一部への電話かけを行い、活動を支援。</p>	毎月第3(水)年11 回(8月休み)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男助っ人隊の包丁研ぎ個人講座	<p>【目的】 地域の在宅高齢者の生活支援。男性ボランティア「男助っ人隊」の自主事業が地域に定着するよう協力していく。</p> <p>【内容】 包丁研ぎの指導。高齢で自分で研ぐことができない人には、代わりに実施。</p>	6月、9月、12月、3 月の第3土曜日 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】 認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域をつくっていけるよう講座を開催する。</p> <p>【内容】 認知症とは？(種類、症状、行動)、認知症の人の気持ちと接し方、サポーターの役割等</p>	随時開催

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティアポイント登録研修会	<p>【目的】地域の元気な高齢者に地域貢献活動の機会を提供し、いきがい・交流につなげ、共助の意識を高める。また、地域の福祉施設にシニアボランティアポイントの周知をし、ボランティア獲得の手段として活用してもらう。</p> <p>【内容】よこはまシニアボランティアポイントのテキストにそって、事業の概要、ボランティアについて、活動の留意点等講習。登録後の活動場所、内容を情報提供する。</p>	平成28年8月30日 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症介護を考える会	<p>【目的】認知症についての理解を深め、支援者を地域に広げていく。意識ある地域住民と連携し、認知症本人や家族を支える仕組みを構築する。</p> <p>【内容】認知症当事者・家族の居場所作り、啓発活動等。</p>	月1回、年10回程度

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で健康クッキング	<p>【目的】子どもの健やかな成長を支援。母親の育児不安軽減、地域での仲間作り。また、貸室団体と共催することで、団体の特技を生かしたボランティア活動を支援する。</p> <p>【内容】未収園児と保護者を対象に、子どもと一緒に料理を楽しむ。健康的な食生活の情報提供。</p>	平成28年4月28日 (金) 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室清掃・ボランティア大作戦！！	<p>【目的】ケアプラザは地域の共有財産であるということの意識づけのきっかけにする。油污れや手垢など、通常の清掃では清潔を保つのが難しい調理室を、「みんなの施設みんなできれいに」を合言葉に、貸室利用団体の協力を募ってそうじすることで、施設利用の仕方や、関わりを意識してもらう。</p> <p>【内容】午前、午後に分かれて、大掃除を実施。掃除のあとは、ふりかえりで反省会及び交流会実施。</p>	平成28年9月、3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほ도가やウォーク～地元を歩こう	<p>【目的】地域住民の健康意識、自分のからだへの関心を高めてもらう。ウォーキングをきっかけとした仲間作り。</p> <p>【内容】区の取り組みである「ほどウォーク」ガイドを利用した健康作り講座。体力測定。ウォーキングの実践。効果測定。</p>	平成28年5月30日、 6月20日、7月8日 3回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとフレンズ 2017春	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。</p> <p>③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。</p> <p>本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。保土ケ谷区内に在住・在学の養護学校の小学生～高校生を対象に室内プログラムの余暇支援を実施。横浜市常盤台地域ケアプラザを会場に「夏祭り」を実施する。ペアとなるボランティアには、事前説明会を実施。</p>	平成29年3月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
鬼の出張	<p>【目的】地域ケアプラザに登録する男性ボランティアが鬼に扮し、施設外ボランティアで節分イベントに協力します。当施設の機能理解を図ることや男性の社会参加の場を提供することで地域活動の活性化を図る。</p> <p>【内容】男性ボランティアによる鬼の出張。</p>	平成28年2月 1～2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
グリーンカーテンを作ろう	<p>【目的】地域住民との連携。ケアプラザと住民が協働して園芸作業を行い、得意分野を生かした地域貢献の場を提供する。緑のカーテンを設けることで、子育て支援事業の一環として7、8月に実施するプール開催時の日よけとする。またプールや寺子屋の参加者に緑のふれあいの機会を提供し、店頭に並んだ野菜しか知らない若い親子の食育の効果を図る。</p> <p>【内容】2階のベランダを利用したグリーンカーテン作り。手入れ、収穫。</p>	不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	<p>【目的】男性介護者が同じ立場の方同士で交流をもつことで、介護に関する悩みの共有や、前向きに介護ができるよう情報交換を行う。日頃の介護のストレスを解消できる機会をもつ。</p> <p>【内容】参加者どうして交流を図れる場の提供。介護に関する情報提供を行う。</p>	奇数月・第1水曜 (内容により変更あり) 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者教室	<p>【目的】介護者や介護に興味がある方を対象に、介護技術など勉強の機会を設ける事を目的に開催。</p> <p>【内容】1回目：介護技術講座 2回目：簡単レンジで調理 3回目：住環境整備講座</p> <p>※3回コースで開催するが、単発参加が可能。</p>	9月・10月・11月 全3回

平成28年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ホッとする会	【目的】介護者が同じ立場の方同士で悩みや想いを共有し、リフレッシュできる機会を作る。 【内容】参加者同士の交流が図れ、ストレスや介護負担の軽減ができるような場を提供する。	偶数月・第4火曜日 (内容により変更あり) 年6回